

1面 藤井さん
斎藤さん
全国大会結果

2面 新会長インタビュー
学校説明会
編集後記

発行所

北海道札幌南高等学校
外局みなみ新聞局
札幌市中央区南18条西6丁目
発行責任者 樹田 悠月

The Minamigo

悲願の情報オリンピック金

European Girls' Olympiad in Informatics, in Sweden

201の藤居星（ふじいあかり）さんは、7月15日から21日にスウェーデンのルンドで行われた「第3回ヨーロッパ女子情報オリンピック（通称EGOI）」に日本代表として出場し、金メダルを獲得した。

EGOIは高校3年以下の女子生徒が参加できるプログラミングコンテストで、主にヨーロッパを中心に開催される。本番は2日間あり、1日あたり4問が課される。選手は問題を解くためのプログラムを各日5時間で実装し、各問題にいくつか設置されているテストケースに対して正しい答えを導けば得点できる。合計800点満点で得点を競い、上位50%の選手へ金1・銀2・銅3の比率でメダルが付与される。

大会を振り返って

今年で3回目を迎えたEGOIだが、藤居さんは3回とも出場している。中学3年では銀メダルを獲得したが、昨年は銅メダルに2点届かずメダルを

手にできなかった。藤居さんはこのことについて「高1の時は10月に大会があって、その時には実力テストや定期考査、所属しているBSの大会が重なっていた。それらを全部両立させようとして中途半端になってしまっ、プログラミングの方にうまく時間をかけられなかったという反省があった。今回は7月に大会があったので、6月に定期考査が終わってからは勉強をせずにプログラミングにすべての時間をかけた。そして昨年の反省を元に準備万端でリベンジ成功みたいな」と笑顔を見せた。

次に目指すは

情報オリンピックなどの競技プログラミングは男子の方が圧倒的にレベルが高いため、女子のみでの大会が行われている。世界最高峰の大会「国際情報オリンピック」に出場するためには、男子も参加する「日本情報オリンピック」を勝ち抜いて春季トレーニングに進出し、さらに勝ち抜く必

要がある。しかし、現実には春季トレーニングに進出した女子生徒は未だにいないという。今回の大会でも、藤居さんは女子生徒の中で勝ち抜いてEGOIに出場した。しかし、次年度は、男子生徒もいる中で春季トレーニングに進出を目指す。「男女混合の方であれば、EGOIの出場も内定するし、自信もつく。周りにもそろそろ行けるんじゃないかと期待されていて、それを目指している」と意気込んだ。

プログラミングの勉強法

普段の練習では、EGOIや日本の情報オリンピックの過去問を解いて場数を踏み、ひらめきが必要な問題にも対処できるようにしている。競技プログラミングの魅力は「やっばり問題が解けたときが楽しい」。5時間で4問解くことからわかるように1問に結構時間がかかるから、問題が解けたときは達成感もある。



金メダルを首にかける藤居さん

情報オリンピック以外には、パソコン甲子園にも出場している。昨年は同学年の女子とのペアで予選を通過し、会津大学で行われた本選に進出した。本選では、問題を解くだけでなく、他の高校生と交流することもあった。今年9月9日（土）に行われた「パソコン甲子園2023」予選に、1年生の男子とペアを組み出場した。

齋藤竜王

歩兵 爆誕!!! 王将

203の齋藤駿汰さんは8月16日・17日に福岡県で行われた第36回全国高等学校将棋竜王戦で見事優勝した。

今回は優勝に輝いた齋藤さんだが、実は8月3日・4日に鹿児島県で行われた全国高等学校将棋選手権大会にも出場していた。しかしそこでは予選落ちという結果に終わった。竜王戦までの期間は、メンタルの回復や先輩との特訓を行い過ごしていたという。

竜王戦の行われる福岡には飛行機で当日の午前到着する予定だったが、台風の影響で急遽前日入りすることになった。観光などをするのはなく、道場へ行き将棋を指して

過ぎた。夜はなかなか寝つけなかったものの、7時間程寝て当日を迎えた。対局相手の中には前日道場で指した相手もいた。前日は勝利していたものの、相手が齋藤君の将棋の研究を行って来ており、少し危なかったと語る。それでも勝ち切り、決勝まで進んだ。決勝は有利な局面から徐々に追い上げられたものの、無事に逃げ切って勝利をつかんだ。気持ちを落ち着かせるために、駒を指すとき音をなるべくたてないで静かに指すように意識していたそうだ。

優勝商品にはカップや藤井聡太氏の色紙などがあつた。また、大会に特別協力していた大塚製薬からカロリーメイトが25箱贈呈された。なかなか食べ進められず、机に積み上げられている。タイトル獲得の勝因を聞くと、「ピークを合わせたのが良かった」と語り、本番で最高潮にもっていきこの大切さを感じていた。



決勝トーナメントに臨む齋藤さん(左) 提供 北澤先生

ゴルフ

○302 ゴヴォロヴスキイ大河 全国高等学校ゴルフ選手権大会個人部門 80位

放送

○202 小野寺慧 第70回NHK杯全国高校放送コンテスト朗読部門準々決勝出場
○307 堀田あかり 第70回NHK杯全国高校放送コンテスト朗読部門準決勝進出
○206 板垣歩花 第70回NHK杯全国高校放送コンテストラジオドラマ部門準々決勝出場

囲碁

○302 伊藤優空 第7回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 予選敗退
○202 齋藤香夏 第7回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 敗退

将棋

○207 西村雪音 第7回全国高等学校総合文化祭将棋部門 予選敗退
○203 齋藤駿汰 第47回全国高等学校総合文化祭将棋部門 予選敗退
第36回全国高等学校将棋竜王戦 優勝

陸上

○302 始関千華 高体連全国大会
3000m 予選出場
1500m 予選出場

新会長にインタビュー



▲質問に答える新会長の目黒さん

10月から新しく生徒会長となった106の目黒玄愷(めぐろ げんせい)さんに話を聞いた。目黒さんは4月から執行委員として活動してきた。生徒会長への立候補を決めたのは、夏休みにあった会議の際に、他の執行委員から次期生徒会長に適任ではないかと名前を挙げてもらったからだ。生徒会長に立候補したのが目黒さんひとりだったため、不信任で落選するとまずいと不安を抱いていたが、信任の票がほとんどだったため安堵したと話した。生徒会長になることに対しては、「生徒会長になったからといって執行内の仕事内容が変わる訳ではない。公約として話したことも含

め、今後も力を入れて頑張っていきたい。10月に、2年生中心から1年生中心の執行委員会へと代替わりするので、2年生の執行委員会をしっかりと引き継げるようにしたい。」と語る。

公約について
公約のひとつに、執行委員会から出した紙のプリントをデータ化してGoogle Classroomに配信し、保管を容易にできるようにするということがある。現在、普段配付される「執行だもの」や、南高祭時期に配付されるプリント、南高祭の発表内容調査書などといった提出プリント類は、すべて紙で保管するしかない。すべてを一冊にまとめるとDUOの厚さを優に超え、執行委員会でも1枚残らず保管することは難しい。「データ化して保管することで、活動時に、活動内容について書かれた紙を探すことも無く、すぐに調べることが可能になる。また、学校行事の際にも不測の事態に誰でも対応することができ、不利益を被る恐れも回避することができるともいうひとつの公約として有志発表のことも挙げていた。有志発表ができる機会といえ、学校祭しかないのが現状だ。学校祭はタイムスケジュールが定められている。HR発表や委員会などのシフト時間が被っているため、見たい有志発表を見



ることができない人が多い。目黒さん自身も執行委員会の仕事により、ほとんど見ることができなかったそうだ。そこで、学校祭のような特別な場ではなく、平日に有志発表の場を設ける。それは活動する意欲のある人に表現可能な場を提供し、より多くの人が有志発表を見ることができるとして作ることを目的としている。ただ、この企画は、普段部活動で使われる場所を使用したり、実際どれくらい生徒が集まるのかという想定ができたかという想定ができたか、綺麗だと思ふ風景を

趣味は写真撮影
最近、夕焼けなどの風景を写真に収めることが趣味になっていると話した。中学生の時は自身のスマートフォンを持っておらず、他の人のスマートフォンを借りても型が古いために上手く撮れなかったり、デジタルカメラを持ち歩くのが面倒だと感じたりしていたため、綺麗だと思ふ風景を

見ても心の中で留めていた。高校に入ってから、カメラの性能の良いスマートフォンを持つようになり、InstagramやウェブサイトでiPhoneの写真的撮り方を調べては試しに写真を撮ってみたいというところを繰り返していった。きれいな景色を見たら持っている荷物をその場において、写真を撮りに走り出すこともあるそうだ。あまりに没頭しすぎて、友人からかわれたこともあったと笑った。

プロフィール

目黒 玄愷 (めぐろ げんせい)

誕生日	4月4日	得意教科	現代の国語
身長	173cm	好きな曲	10°C (しゃろう)
好きなお菓子	じゃがりこ	尊敬する人物	サンタクロース
座右の銘		好きなDUOの例文	255番

男子の中身は永遠に小学3年生

札南の「自由」を語る

7月28日、本校第1体育館で学校説明会が行われた。全国から634名の中学3年生が参加し、札南での学習や部活について説明を受けた。吹奏楽部の演奏で歓迎し、先生方による説明後には合唱部が校歌紹介をした。会の最後に行われたのが「南高生が語る」だ。各学年から2名ずつ選ばれた6名が、在校生の立場から勉強や校則について語った。昨年度に引き続き、語る側である「アドバイザー」となった205の加藤真理奈さんは「札南の校風のイメージが湧いた」という感想が挙がった。入試までは残り半年。受験生にとっての貴重な道標となったことだ。



▲札南での生活を語る305の三浦和輝さん

編集後記

太郎：今回の学校説明会について記事を書いていって、来年度の入試が2024年3月5日(火)〜7日(木)にあるらしいよ。
花子：じゃあその3日間に入試業務の関係で休みになるんだね。うれし
太郎：ただ、1日(金)に卒業式があるから、入試前日の4日(月)は定期テスト4日目となるみたいだね。
花子：うそでしよう!? いやあ休みの直前まで定期考査の勉強をしなければいけないことになるじゃない!
太郎：そうだね。でも定期が終わったら休みだしがんばるしかないね。